

3 学期終業式講話

おはようございます。本日をもって3学期を終了し、この1年間の締めくくりとしたいと思います。この1年間が長く感じた方は、悩み考えることが多かったのではないかと思います。短く感じた方は、毎日が忙しく充実していたのではないかと思います。特に2年生は国内研修旅行が終わってからは、時間のたつのが早く感じたのではないかと思います。

先月は1年生のディベートと2年生のテーマ探究の発表を見る機会がありました。1年生は近くの須津中学校の2年生がディベートに参加・見学しましたし、2年生の発表も大変面白い視点のものがありません。来年度は自分スピーチの授業がありますが、この1年間市役所プラン等をはじめとする本校の探究学習を見させていただいて、そこには自分がかつて警察学校で教えていた内容と近いものを感じました。

今から10年ほど前、私は警察学校の副校長として勤務していました。そこでは「文書作成」と「コミュニケーション」という授業をもって教えていました。警察学校は高校を卒業して10か月ほど勉強する場所です。すぐに交番勤務やパトロールはしません。学校で学生をやっている間、給料はもらえます。勉強することは主に法律で、刑法、刑事訴訟法、道路交通法、民法などを覚え学習します。このテストで赤点をたくさんもらって辞職してはいけません。厳しい世界です。実際に現場で取り締まる時に、法律によって執行していくからです。警察学校を卒業して現場の交番勤務をしてまた学校に戻って勉強して、そして実践していくわけですね。

学校はいつも80分授業で一日5コマあって、最後の授業は必ず体育です。常に鍛えて走っていないと、犯人に逃げられてしまいますから。皆さんと同じように新体力テストもやっていますので、私も一緒にシャトルランをやったりしました。

これら授業を補完するための授業が私の役割で、皆さんが学んだディベートはあるし、スピーチ練習はあるし、アクティブラーニング的な授業も行いました。先日の交通教室で警官の方が話されたように、皆さんの前で話す機会があるからです。何より調書を書かなくてはなりませんので、漢字テストもあって、その問題も私は作っていました。

そうした中で、私がおこなったコミュニケーションの授業では、様々な事件をもとにプロファイリング、つまり犯人像を挙げていくものでした。ここでは様々な知識を総動員させて考えなくてはならないわけで、各グループに分けてアクティブラーニングを行いました。なぜ犯人は北海道へ逃走したんだろう、なぜ犯人は沖縄に逃げたんだろう。犯人は事件を起こして逃げるのですが、もう一度現場を確認したりする場合もあつたりします。それからなぜ関西方面を転々と逃げたのだろう。それを考えていくと、方言も一つの理由かもしれない。関西弁が通用する所と考えてもいいのかと。そうしてくると地理の授業や国語の授業が重要になってきます。あらゆる角度から考えいくということは本校で言うところの「探究」になるわけで、かなり共通していることがわかります。

さらには犯人はどんな人物かといった心理学的な考察も必要です。どんな経歴なんだろう

う。家族構成は、成育歴はどうなんだろう。色々な疑問に思うことを挙げていきます。

つまり皆さんが富士市立高校で学んでいることは警察のみならず実社会に直結して、卒業してすぐに役立つということになります。ですからこの学校で学んでいることはすごく大切なものであることを知ってほしいと思います。

さて、春休みは短いです。部活動に精を出すのも大事ですが、スマホ依存の方には特に言いたいのは、一冊でもいいから本を読んでいただきたい。何冊でもいいから本を読んでいただきたい。そして少しでも勉強してほしいと思います。自分は今何をしなくてはいけないのかを考えてほしい。これはちょうど今やっている野球のWBCで活躍している大谷選手がいい例です。彼は高校時代から将来設計を立てて、今何をすべきかを常に考えていたといいます。これらのことを頭に入れて春休みを過ごしてください。4月には皆さんの元気な姿を見たいと思います。以上で講話を終わります。

(令和5年3月20日、終業式)